



学校だより

たかくだより

スローガン

『たくましく生きる高久の子』



高久小の学校教育目標

たかくだより

の人を思いやる子
んがえて勉強する子
じけずにがんばる子

那須町立高久小学校
令和3年9月15日発行
NO. 8



文責
伊藤いつみ

HP QRコード

高久小HP リニューアルしました

那須町の教育スローガン

『夢、感動あふれる人づくり』

合同避難(引き渡し)訓練 無事終了



Zoomで教室とふれあいホールをつなぎました。

9月2日に、那須中学校区合同避難訓練が行われました。那須岳の噴火を想定した保護者への緊急引き渡しでしたが、スムーズに実施できたと思います。

子どもたちは、下学年がふれあいホールに待機し、上学年は2階の各教室で保護者の皆さんが迎えに来るまで待つという形で、密を避ける工夫をしました。



ソーシャルディスタンスを保って静かに待機する下学年児童

ふれあいホールと各教室をつなぐのはZoomです。児童昇降口で保護者の方を確認すると、すぐに連絡が行われ、上学年の児童はふれあいホールに降りてきて、迅速に引き渡しを行うことができました。

校庭が一方通行となったことと、交通整理に畑巡查部長さんや清水交通指導員さん、室越交通ボランティアさんが、交通整理に当たってくださったこともスムーズな車の流れになったと思います。協力者の方々、保護者の皆様、御協力ありがとうございました。



一方通行になった校庭は安全に！

スムーズな車の流れになったと思います。協力者の方々、保護者の皆様、御協力ありがとうございました。

第2回PTA奉仕作業

8月28日(土)に、第2回目のPTA奉仕作業を行いました。

今回は、緊急事態宣言発令中だったために、PTA総務部と事業部、教職員に限定して実施しましたが、学校だよりをご覧になった地域の方も御参加下さいました。総勢25名で、広い校庭の草刈りを中心に行いました。役員でなくとも刈払機を持参して、参加下さった保護者の方もいらっしゃいました。校庭が大変きれいになりました。

御協力ありがとうございました。





「自律・自立」に向け、学ぶ子どもたちの姿



先生の話をも自分の言葉で伝える1年生

これは、本校の子どもたちの素晴らしいところだと思います。全員が真剣に教師や友達の話を聞いて、拍手する。自分が当番の時には伝える側になる。誰もが経験することです。毎日の下校前に、子どもたちは自然にリーダーになる訓練をしているようです。

しかし、現在の課題は、「全員がしゃべらずに静かに待つ」ことです。緊急の時に、大切なことを聞き落とすことがないように、静かに待つ訓練も日々行っています。

下校前の様子

毎日の下校前、中庭に集まった子どもたちは、教師の言葉に耳を傾け真剣に話を聞きます。その後、前に出ている当番の児童が、教師の話を自分自身の言葉に集約して、大切だと思うことを皆に伝えます。座って待っていた子どもたちは、その言葉を聞いて、当番の児童に拍手を送ります。なかなか自分の言葉にできない児童もいますが、周りの子どもたちは、静かに注目して待つ、話を聞くことができています。今では、1年生下校の時も、きちんと1年生の当番が行っています。



1～3年下校時の3年生の当番

秋のスポーツ祭にむけて取り組む子どもたち

9月25日に予定しているスポーツフェスティバルの新しい名前を、6年生が決めました。「秋のスポーツ祭 in たかく」です！

6年生は、全校生に周知するために、メッセージ動画を作成し配信しました。このように、子どもたちは、伝えたいことを伝えるための手段の一つとして、タブレットを使っています。種目内容や名称等も、各学年学級会で話し合いをして決めています。6年生ともなると、タブレットを上手に使いこなして、自分の考えを絵や言葉で表し、友達に伝えていました。学校ホームページにも様子が掲載されています。



6年生の「秋スポ」PRメッセージ動画

自主学習「ばしょうっ子ノート」から

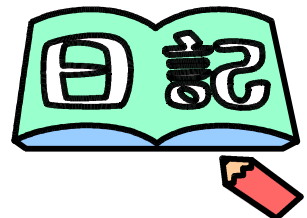
9月上旬に夏休み作品展を公開しましたが、夏休み前に学級会で「夏休み作品コンクール」をしようとした学年がありました。計画委員さん達は、金・銀・銅メダルを作り、学級会で作品のコンクール（鑑賞会）を行いました。皆が自分がいいと思う友達の作品を選んでいました。

先日校舎内を回っていたとき、朝の会で担任が「ばしょうっ子ノート」（家庭学習として行っている自主学習ノート）に書かれていた日記を紹介し、子どもたちと話していたことが心に留まりました。子どもたちの心が育っているな、と感じたことでした。

めあて：さくひんコンクールのかんそうをまとめる。

『ぼくはしかいでした。「しずかにしてください。」と言ったときしずかにしてくれたからたすかりました。金メダルをとれたのでメチャクチャうれしかったです。しゃんもとりました。』

みんなさくひんをつくるのにいろいろなくふうをしていてとてもすごかったので、みんな金メダルのほうがよかったなあと感じていました。みんなおもしろいさくひんをつくっていたと思います。銀、銅の二人もすごいなと思いました。 おわり』
ふりかえり：ついにかんそうをかけました。



本校は、数年前から学級会の話し合い活動で、違う意見でも尊重し、認め合いながら折り合いを付けることを続けています。いろんな人がいることを理解して、自分とは違う考えも認められる児童に育ってほしい。と、そう思ってきましたが、こんな日記を目にすると嬉しくなります。担任からも、「〇〇賞など、それぞれに賞があっても良かったね。」と子どもたちに話がありました。

授業中も、いろんな子どもたちの姿が見られます。イスに座る姿勢が悪くても、真剣に教師の話を聞く子。もちろん、姿勢良くできるのが良いです。でも、そんな子どもたちを見ていると、大切にすべきことは何かと考えます。私自身も見方を変え、自分が変わらないといけなと思います。